

2018年～2019年度 国際ロータリーのテーマ



インスピレーションになろう

2018～19年度 国際ロータリー会長
バリー・ラシン 氏



「平成土浦百景」：駅前通り筑波山
写真：せきごう氏

9月は基本的教育と識字率向上・ロータリーの友月間

2018～2019年度(第61期 沼田年度)

9月第4例会プログラム

9月27日(第2954回) VOL. 10

- 点 鐘
- ロータリーソング
- 来賓紹介
- ビジター紹介
- 幹事報告・委員会報告
- 新会員入会式
- 会 食
- 卓話「土浦市について」
- にこにこBOX
- 出席報告
- 点 鐘
- ロータリーソング

会 長
四つのテスト
会 長
親睦活動委員会

土浦市議会議長 海老原一郎 様

S.A.A
出席委員会
会 長
我等の生業

RI(国際ロータリー)の創立:1905(明治38) 日本のロータリー創立:1920(大正9)

RI第2820地区 茨城県

土浦ロータリークラブ

RI (国際ロータリー) 承認 日本国内247番
創 立 1958年2月14日(昭和33年)
承 認 1958年3月 7日(昭和33年)
事務局：土浦市中央2-16-9 (常陽銀行4F)

姉妹クラブ RI第3520地区 台北陽明扶輪社
会長 沼田 義雄 幹事 佐藤ばうろ

TEL 029-822-1250 FAX 029-824-8830

URL <http://www.tsuchiura-rc.org> E-mail office@tsuchiura-rc.org

例会場：L'AUBE Kasumigaura 毎週木曜日 12：30～13：30

2820地区 研究会報告

クラブ奉仕研究会報告

強いクラブを作る

- ・クラブの現状分析
- ・中長期の戦略計画立案(3~4年後を見据えて)

土浦ロータリークラブ現状分析

○長所

- ・歴史と伝統の中で培われた格調の高さ
- ・自由闊達で和やかな雰囲気
- ・若手会員・女性会員が増加傾向

○短所

- ・前例主義、組織のマンネリ化
- ・新会員への教育が不十分
- ・会員の年齢構成(ロータリー歴)のバラつき
- ・外部への発信が弱い

土浦ロータリークラブ中長期戦略計画

- ・会員数 70名
 - ・米山記念奨学金寄付金総額2億円突破への足掛かり。
 - ・新たな国際奉仕プロジェクト 創設
 - ・ローターアクト 復活
 - ・新会員教育の充実
- 計画のチェック機関(検証委員会等)の設置

竹内 副会長



クラブ奉仕研究会報告

7月16日(月) 10:00 ~ 15:30 三の丸ホテル

国際ロータリー代2820地区 2018-19年度 クラブ奉仕研究会報告

「戦略と計画」と「公共イメージの向上」をテーマに坂井正人 第1ゾーン ロータリーディネーター8(函館五稜郭RC)を招いてのP E T同様に参加型研究会に参加してきました。

強いクラブを創る

ロータリークラブにおけるすべてのことは満足感に始まり満足感に終わるといわれるそうです。ロータリアンがクラブ会員としての維持、継続している理由もこの満足感と言えるのです。例会に出席するのが楽しい、楽しみだ、友人に会えると思える環境が満足感をつくり出す第一のステップである。これらの環境は私達共通の目的や指針として長い年月をかけて形づくられたものであり、互いの関係や行動の土台として、ロータリーの基本理念である「ロータリーの目的」「四つのテスト」を大切にしています。そして多くのロータリアンの満足感や奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップという中核的価値観であらわすことができる。

この中核的価値観を五段階に分けたアンケート調査で数値化した満足度を調査することで、自分のクラブがどんなクラブであるのかを知ることができます。

満足度が高いクラブは今後どのように維持して行けば良いかを、また、満足度の低いクラブは何をどのように改善すべきかを検討する必要があります。

クラブの分析をするリソースとしては国際ロータリーの資料「クラブの健康チェック」があり結果に対する対処方法のヒントが記述されています。

「戦略計画立案ガイド」をプロセスに沿って立案していきます。

これらの分析と計画の立案には会員の満足度を向上させるためにも、全会員の参加が最も重要です。強いクラブを創るためには会員の満足度が高くなければなりません。当然のことですが満足していれば退会者が減少します。そして、ロータリーの中核的価値観に基づいた行動をしていけば入会予定者にも魅力的なクラブとして映るはず。その結果会員増強に繋がれば多くのアイデアが生まれ行動するマンパワーにも恵まれることとなります。すべてのクラブが「会員満足度調査」をしたほうが良いとおっしゃっていました。

高橋 副幹事



社会奉仕研究会報告

7月28日に水戸三の丸ホテルにて2018-19年度の国際ロータリー第2820地区の奉仕プロジェクト研究会が開催されました。

冒頭高橋ガバナーより挨拶があり、つぎの三項目を強調されました。

①ロータリアンは変化の推進者たれ ②ロータリーの地域への周知 ③例会の大切さです。

渡邊 社会奉仕委員長



①についてはインスピレーションにより変化をもたらす、これはどういう事か分かりにくかったのですが、「困っている人を救おうとしている人達を目の当たりにした場合自分も何かしようとする思いに駆られる、それが他者へのインスピレーションになる」このことが変化をもたらすことなのかなと理解しました。

②はロータリーファミリー、米山学友等との連携を深め地域を巻き込んでの奉仕活動

③はロータリーの活動の原点はクラブの活性化即ち例会への出席。

ガバナーの挨拶の後公共イメージ委員会の説明があり、その後ロータリー財団委員会の説明、そして午前中の最後はグローバル補助金を活用した留学生の帰国報告があり午前中は終了しました。

午後からは各奉仕委員会が分かれて協議がおこなわれました。協議は5~7名のグループで討議され、社会奉仕への取り組みは単年度事業でなく継続的な事業として実施することが効果的ではないか又、これらは予算との関係で規模の拡大が難しい等の意見があり、クラブの規模により様々な状況があることを確認しました。

当クラブの事業活動は継続性をもって実施しており社会奉仕としては評価できることを確認しました。

今年度から四つの奉仕部門を一体化しての研究会でしたが、なにか新しい変化を期待しましたが特に感じられるものはありませんでした。

国際奉仕研究会報告

平島 国際奉仕副委員長

西へと進む異例の逆走台風による影響で荒れた天候となった7/28(土)、水戸三の丸ホテルにて開催された奉仕プロジェクト研究会に参加してきました。

本年度は、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕の合同研究会という形式での開催でした。3つの委員会を奉仕プロジェクト委員会の中に包含することによって、「クラブ負担の軽減と地区運営の効率化を図る」事を目的とした組織替えとの説明がありました。各奉仕委員会個別で奉仕活動を考えて実施していくのではなく、鳥瞰的な捉え方をして奉仕活動を計画し実施していくための「奉仕プロジェクト委員会」の設立を目指しているとのこと。



午前中は、地区ロータリー財団委員会の方々による、地区補助金、およびグローバル補助金の活用についての説明、それとグローバル補助金を活用して名門コロンビア大学に留学されていた寺前裕子さんからの帰国報告がありました。また、各クラブの奉仕活動を広く社会にアピールすることにより、ロータリークラブの存在を周知してもらうための公共イメージ委員会の活用についての説明がありました。

午後は、「職業奉仕委員会」「社会奉仕委員会」「国際奉仕委員会」ごとに部屋が分かれ、分科会方式でのディスカッションを行いました。私が参加した「国際奉仕委員会」においては、【この指とまれ】の各プロジェクト(昨年度から1つ増えて合計7つのプロジェクト)の提唱クラブによる熱の入った事業内容についての説明がありました。【この指とまれ】プロジェクトは、他の地区にはない当地区だけのユニークな国際奉仕事業で、プロジェクト提唱クラブと、これに賛同する他の複数のクラブの連携協力を得て、これまで多くの有益な実績を残しています。地区としても、これまで以上に、この共同プロジェクト推進拡大の後押しをしていく印象を受けました。

以上、国際奉仕研究会の報告とさせていただきます。

米山カウンセラーセミナー報告

平島 米山奨学生カウンセラー

2018年度(2018/4 ~ 2019/3)米山カウンセラーとしてのこれまでの活動、および経過報告をさせていただきます。

4/28(土)ホテルマロード筑波にて開催された「米山記念奨学会生及びクラブカウンセラーのためのオリエンテーション」に出席して、米山カウンセラーとしての心得や奨学生受入に関する説明を受け、クラブカウンセラーとしてフォローさせていただく、エーさんと対面しました。

5/27(日)ノバホールにて開催された地区大会では、エーさんには米山記念奨学会の物販売子のお手伝いをされていましたが、地区大会の記念講演者であるミャンマーやラオスなどの途上国で無償医療支援を続ける「ジャパンハート」代表の吉岡秀人氏に、エーさんのたつての希望で講演終了後に事前アポなしで対面させていただきました。

6/2 ~ 6/3の米山記念館を訪問する奨学生研修旅行の際は、エーさんから旅行中の楽しそうな写真をSNSのLINEアプリ経由で送っていただきました。

8/5(日)つくば山水亭で開催された「世話クラブ・準世話クラブ・学友会 合同セミナー」は出席できず、代わりに鈴木亮米山委員に参加していただきました。セミナーでは、活動の状況報告と、米山事業の目的に向けての問題点を話し合ったようです。ここまでは順調に進んでいる旨の発言が多く聞かれたとのこと。

なお、9/30(日)には奨学生の日本文化研修会が開催される予定です。

以上、山カウンセラーの報告とさせていただきます。

平成30年9月17日(月祝) 於：甲子園球場 対:大分ロータリークラブ



第35回全国ロータリークラブ野球大会出場に際しましては、会員の皆様のご支援、ご協力を賜わり感謝申し上げます。

去る17日、甲子園球場におきまして、大分RCと対戦し、13対2で快勝いたしました。

前日の前夜祭には、当クラブのクラブソング「ともに歩もう」を披露し、前夜祭終了後、大分RCと交流会を催し意義のある大会になりました。

来年も会員の皆様の応援よろしく願いいたしまして大会の報告とさせていただきます。



祝勝会開催決定!! 10/4(木) 18:30~ かね喜本店

来訪ロータリアン

鈴木 富士雄君 (つくば学園RC)

出席報告

会員	欠席	出席	免除・欠席	出席率
58名	17名	41名	3名	74.54%

新会員紹介

氏名 飯村 晃一 君
事業所名 日本生命保険相互会社
柏常総支社

例会予告

- 10月4日 理事会(4)、会長挨拶、誕生祝、卓話「世界湖沼会議について」霞ヶ浦市民協会前理事長 滝下利夫様
- 11日 結婚記念祝、入会記念祝、「ロータリーの友」紹介 竹中公共イメージ委員長

10月のロータリーレートは112円です。